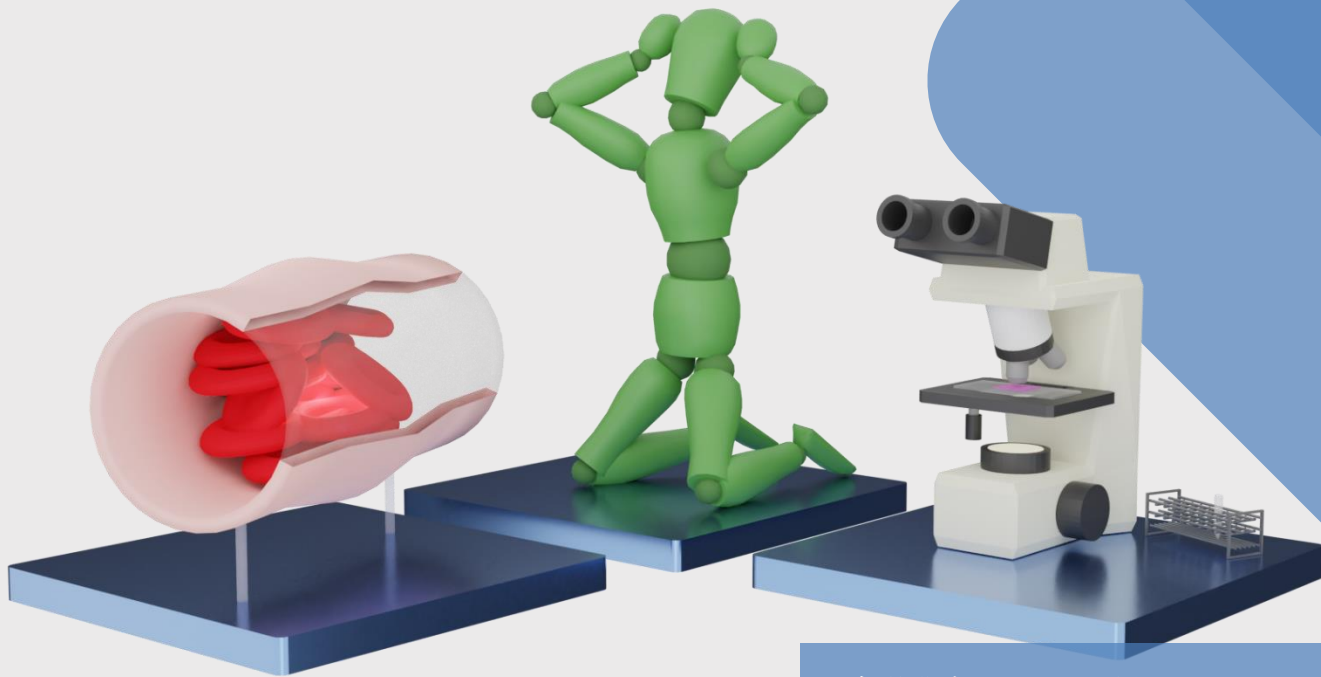


# 検査セミナー

## オンコロジーエマージェンシー

～パニック値の背後にある病態を理解しよう～



会場講演とZOOMを用いたオンライン配信



日時

令和4年11月5日(土)  
14:00～16:00



会場

兵庫県民会館 パルテホール  
(神戸市中央区下山手通4-16-13)



プログラム

座長:村山 徹(兵庫県立がんセンター 血液内科)

### 講演1

オンコロジーエマージェンシーの系統的アプローチ  
～パニック値でもパニックらない～

演者:森田 充紀(兵庫県立がんセンター 腫瘍内科)

座長:駒井 隆夫(兵庫県立尼崎総合医療センター 検査部)

### 講演2

悪性腫瘍と血栓症について

演者:真鍋 健太(関西ろうさい病院 検査科)

### 講演3

悪性腫瘍と尿検査について

演者:大沼 健一郎(神戸大学医学部附属病院 検査部)

世話役

兵庫県立がんセンター検査技師長 幸福 淳子  
(公社)兵庫県臨床検査技師会会長 真田 浩一

兵庫県がん診療連携協議会  
(公社)兵庫県臨床検査技師会

共催 兵庫県がん診療連携協議会・(公社)兵庫県臨床検査技師会  
「検査セミナー」

テーマ：オンコロジーエマージェンシー

～パニック値の背後にある病態を理解しよう～

日時 令和4年11月5日(土) 14:00～16:00

場所 兵庫県民会館 パルテホール (神戸市中央区下山手通4-16-13)

悪性腫瘍の経過中で急速に全身状態の悪化を来し緊急な治療を必要とする場合があります、「オンコロジーエマージェンシー」といわれています。機序として、代謝障害(高カルシウム血症、腫瘍崩壊症候群、低ナトリウム血症など)、構造的障害(頭蓋内圧亢進、脊髄圧迫、心嚢水貯留、上大静脈症候群など)、治療に伴う障害(血管新生阻害剤による出血、免疫関連有害事象など)が挙げられます。臨床検査室ではこれらの病態に「パニック値」として遭遇し、病態を理解したうえで迅速に報告する事が求められています。

講演1では「オンコロジーエマージェンシー」の機序・診断を、講演2,3では実症例を交えてご講演頂き、理解を深めて頂きたいと思っております。

なお今回も、会場での講演と同時にZOOMを用いたオンライン配信を予定しています。

【プログラム】

13:30～ 受付開始

14:00～ 開会挨拶 富永 正寛

(兵庫県がん診療連携協議会議長、兵庫県立がんセンター院長)

14:10～ 座長：村山 徹(兵庫県立がんセンター 血液内科)

講演1. オンコロジーエマージェンシーの系統的アプローチ

～パニック値でもパニックらない～

演者：森田 充紀(兵庫県立がんセンター 腫瘍内科)

15:10～ 座長：駒井 隆夫(兵庫県立尼崎総合医療センター 検査部)

講演2. 悪性腫瘍と血栓症について

演者：真鍋 健太(関西ろうさい病院 検査科)

講演3. 悪性腫瘍と尿検査について

演者：大沼 健一郎(神戸大学医学部附属病院 検査部)

15:50～ 閉会挨拶 真田 浩一(公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 会長)

〈世話役〉 兵庫県立がんセンター 検査技師長 幸福 淳子  
(公社)兵庫県臨床検査技師会 会長 真田 浩一